

次世代を担う皆さまが抱く市政への期待・要望一覧

No	受付日	年齢	タイトル	市政へのご意見(提言・要望等)	回答
1	9月18日	34	せめて気分の悪くならない対応を	市役所の職員さんたちが、もう少し人と接するときの常識を持ってくれているといいなと思います。市民課と子ども課くらいしか行くことはありませんが、あいさつも何もなく、無言で無表情で対応されると最初はびっくりしました。(県外出身なもので)きっと滑川市ではこれがスタンダードなのかもしれませんが、私からするとびっくりのレベルです。もちろん気分のいいものではないので、なるべく市役所には行きたくありません。せめて何の気負いもなく行ける市役所になるといいなと思います。	職員が不快感を与えてしまい大変申し訳ありませんでした。職員には、日頃から、市役所はサービス業であるとの意識づけを行うとともに、3Sサービス(スマイル、スピード、親切)の徹底を図っているところですが、改めて周知し、直ちに改善するよう努めたところです。
2	9月11日	37	世代間の不公平を無くしてほしい	私は年齢が30代の男性です。20代の頃から思っていることですが、今の50～60代の世代との格差が非常に大きいと感じます。経済成長時代、バブル経済時代に活躍されていた方々は、経済的・精神的にも恵まれています。それに対して現在の若者世代は、疲弊した社会(就職環境悪、停滞・衰退する経済)の中で肉体的・精神的に消耗しています。ある程度高齢の方々には自重してもらう政策や法律を整備してほしい。	より公平な社会保障制度の構築を目的とした「社会保障と税の一体改革」など国では検討が進められておりますが、市としても、市民の皆さんが少しでも生活しやすくなるような政策を模索し、実行していきます。
3	10月4日	57	婚活推進活動	未婚の男女が多数存在するため、合コンを主催など市ぐるみで婚活推進事業を行う。	これまで市内においてもライオンズクラブや商工会議所青年部などが婚活事業に取り組んでおられますが、こうした民間の活動を支援していきたいと考えています。
4	9月25日		無断駐車をなくして下さい	滑川市役所や交流プラザ(エール)の駐車場で不正に無断駐車をしている人がいます。それぞれ駅に近いため電車通勤・通学する人が無断駐車しているようです。だいたいいつも同じ車です。悪質な人は、場所を変えている人も中にはいます。周辺の正規駐車場を案内するなどして、やめさせて下さい。真の利用者の妨げになっています。放置しているのは行政の怠慢です。	駐車場については、早朝の駐車状況調査や不審な車両のチェック、来庁者ではないと確実に判断できる車両への張り紙等で、無断駐車禁止の注意喚起をしているところです。今後とも無断駐車防止に努めていきたいと思います。
5	9月5日		生活保護の不正受給をなくせ	生活保護の不正受給を厳しく取り締まってください。〇〇保育園卒園児(現在も在籍しているかもしれませんが)の保護者(私が知っているのは女性)ですが、実家の車を乗り回し、住宅なども誤魔化して、不自由のない生活を送っています。本人に罪悪感はないが、不正をしている認識はある。我々の税金を無駄にするな！受給者を洗い直してください。 ※上記「〇〇」は個別の名称が記載されておりましたが、紹介するにあたっては控えさせていただきます。	生活保護受給者には、ケースワーカーが定期的に訪問し、その生活状況の確認を行ったり、所得調査を行うなど、不正受給がないかチェックしています。もし、不正受給が分かった場合は、保護費の減額または保護の打ち切りを行い、不正受給していた保護費の返還を求めています。また、市民の方から不正受給に関する情報が寄せられたときは、その情報を慎重に精査し、該当する受給者の特定に至った場合には福祉事務所で調査を行いたいと考えています。(※今回の情報に合致する受給者は、見当たりませんでした。)
6	9月11日		小児科入院について	現在、厚生連滑川病院小児科は、月・水・木に非常勤の医師が交代で診察をしてくださっています。ただ、入院となると、市外の総合病院に入院することになり、親は片道40分以上かけて看病しなければなりません。小さい子がいる家庭や長期となるととても大変です。厚生連滑川病院小児科を入院可能になるようにはなりませんでしょうか。	常勤の小児科医の派遣については、市と厚生連滑川病院が共同で、金沢大学に要望しているところです。小児科医が不足していることから、難しい面もありますが、今後も金沢大学に要望をしていきたいと考えています。
7	9月10日	75	自然を大切にしましょう	心・魂を育てましょう(自然が蘇れば心も洗われる)。赤とんぼやホタルが再び戻るには…樹木を切らない、農薬を捲かないように。	自然とふれ合う機会が多ければ多いほど、人の心も穏やかになると思います。樹木の伐採や農薬の散布は、有害虫などの駆除が主な目的であり、農薬散布の量や回数についても必要最小限の範囲で実施しているものですので、ご理解をお願いします。
8	9月21日	30代	龍宮祭りやニジマス釣り大会について	近年、市外からの参加者が多くなり、誰のためのイベントなのかがよく分からなくなってきました。よさこいも、今年は市民グループの参加が無かったと聞きました。祭りや行事が盛大になるのは良いことですが、市民が置き去りになっているような気がします。ニジマス釣り大会でも、市民と市外からの参加者の参加料に違いをつけるなど、市民への優遇措置があっても良いのではないのでしょうか。	ふるさと龍宮まつりは、市の活性化や交流人口の拡大を目的として、また市民が気軽に参加できるイベントとして開催しているものです。実行委員会では新川古代神街流し等での市民のご参加を呼び掛けているところですが、年々参加人数が減少しており、良い案があればご提案いただきたいと考えております。ご意見については実行委員会にも報告いたします。ニジマス釣り大会については、滑川の方のみを対象としているのではなく、イベントをきっかけに滑川市を訪れていただくという、観光事業の一環としての側面もあり、参加料に違いをつけるのは難しいと考えておりますので、ご理解ください。
9	9月21日	30代	ほたるいかミュージアムなど市内の施設について	射水市の大島絵本館は、射水市民に対して入館料の無料化などを行い、優遇措置をとっています(未就学児と一緒にその保護者が無料になる親子フリーパス、土日祝は小中学生が無料になるいみず子どもフリーデー、年間パスポートの家族フリーパス)。これらにより、子どものうちから市内の施設に何度も行って親しみ、興味関心を深めることができ、ひいては学力向上にも繋がるのではないのでしょうか。滑川市内の施設においても、同様に、子育て世代に優しい施策を望みます。 射水市大島絵本館 http://www.ehonkan.or.jp/access/index.html	ほたるいかミュージアムでは、授業の一環として学校から希望があった場合には、無料で見学をしていただいております。また、市広報と同時に配布しているチラシでは、市在住者向けのサービスクーポンを添付するなど、市民向けのサービスを行っております。ご意見を参考に、今後もサービスの充実に努めてまいります。

次世代を担う皆さまが抱く市政への期待・要望一覧

No	受付日	年齢	タイトル	市政へのご意見(提言・要望等)	回答
10	10月4日	57	自動車工場の企業誘致推進活動	トヨタ、ホンダ等の自動車工場の企業誘致推進活動を積極的に行動する。	市では、これまでも工業団地の造成や企業への助成、税制措置の優遇などを実施し、積極的な企業誘致活動を推進してきたところです。 ちなみに、市内にはトヨタ、ホンダなどの自動車部品を製造する企業が藤堂工業㈱をはじめ14社もあります。 本市の限られた面積の中で、環境や利便性に配慮した用地の確保等は難しい状況にありますが、自動車関連に限定せず幅広い業種にわたって誘致活動を行っております。
11	10月4日	57	ソーラーシステム推進活動	ソーラーシステム利用者に助成金を出す。また、市所有のソーラーシステム地域があっても良いと思う。	現在、市では太陽光発電システム(10kwh未満)を新たに設置する方を対象に3万円／kwh(上限12万円)の助成を行っております。市所有のソーラーシステム地域のご提案については今後参考にさせていただきます。
12	9月27日	30	安全に通学できるように…	4月から子どもが小学校に通いますが、三ヶから追分までの通学路に歩道がないので心配です。また、家から小学校まで徒歩で1時間かかります。朝だけでもコミュニティバスを使用できるようにルート・時間を変更してもらいたいです。安心して通学できるようにお願いしたいと思います。	(生活環境課回答)三ヶ・追分地内を経由する北部循環ルートについては、従来より発着拠点となる滑川駅前と浜加積・早月加積地区を反時計回りで周回する路線として広く利用者に定着しているところであり、早急な対応は困難と考えております。 (建設課回答)市道の歩道整備については、交通量や市内全域を考慮し順次進めているところです。
13	9月21日	40	通学路の安全	寺家小学校中川原地区1年生の母です。通学路があまりにも危険な個所が多い。側溝(結構深いです。1年生の身長以上あります。)にブリッジがかかっておらず、いつ落ちてもおかしくないです。歩道と道路の段差が多く、低学年は転んだりします。特に中川原地区がひどいと思います。一度見ていただいて、早急に改善してほしいです。	市道の側溝には側溝蓋がかかっていない現状であります。宅地への乗入れ個所は蓋がかかっている状況です。 なお、市としては維持管理が必要なことから、蓋を設置することは考えておりません。 また、歩道と道路の段差箇所については、現地を確認したいと思いますので、立会の際には連絡させていただきます。
14	9月24日	43	通学路のガードレール	子どもが来春から小学校に通うことになり、改めて通学路を見ると、以前はあったガードレールがなくなっていたり、低い縁石だけの所もありと様々です。でも最近の交通事故を考えると、やはりしっかりとしたガードレールがあった方が良くと思います。ちなみに地区は上小泉です。公民館前から小学校までの道です。本当は住宅街も全てあったら良いと思うくらいです。	上小泉公民館から西部小学校までの市道の一部(約80m)については、今年度中に歩道整備を実施します。
15	10月4日	43	学校区域前の融雪装置について	早月中学校前と東部小学校前は、それぞれ生徒数も多く、歩道はいっぱいです。冬になると歩道は雪で埋まっています。道路の道幅は広いのですが、全面凍っています。歩道が雪で車道を歩くと危ないです。子供も転ぶからと学校までの道が怖いと言っております。 登校範囲すべては難しいと思いますが、せめて交通量も多く小学校、中学校へ行く生徒で混雑する東部小→早月中前正門及び前後少し入れた範囲を融雪道路にしていただけないでしょうか。	地下水利用による新規の消雪施設設置は水源の枯渇、地下水保全の問題があるため考えておりません。 また、河川水による消雪は水温が低いため考えておりません。 そのため、歩車道については従来通り機械除雪で対応します。
16	9月24日	10	公園ちょうだい	僕の家の周り(上小泉地区)にはどうして遊ぶ公園がないんですか！！近所には子供がたくさんいるのに、公園がありません。大きい公園を望んでいるわけではありませんが、体育館など新しくできている場所は周りにあるのになぜ？と思います。遊具がなくてもいいです。ぜひ子どもたちの願いをかなえてやって下さい。	市内の空き地をご寄附いただき、なるべくお金をかけずに憩いのスペースとして活用できればと思っております。ご意見については今後の参考とさせていただきます。
17	9月28日	39	空き家対策について	空き家対策として、老朽空き家は寄付による取り壊しを行っているが、まだまだ使える空き家も多い。市で買い取ってリフォームをして市営住宅としてほしい。ただし、旧市街地は若者が非常に少ないので、例えば30代までしか借りられないという様に年齢を限定して欲しい。一歩進めば、「地域行事に参加します割引」を取り入れたらおもしろいと思います。 定住対策としては、賃貸期間を3年くらいまでとして、その間に気に入れば購入できるようなものにできないか？と思います。その場合は、支払った賃貸料は頭金としたい。 空き地空き家バンクは、やる気がないならやめれば良いと思います。せめて新しい物件から掲載するように変更してはどうか？	まだまだ使える空き家を、市で買い取る場合は、相続の関係等もあり中々難しい現状です。市では、定住人口増加対策として、市外からの若者の移入及び市民の低廉な住宅要請にこたえるため、雇用促進住宅を購入したいと考えております。 また、空き家・空き地情報バンクにつきましては、市内外からお問合せは定期的にいただいております。交渉が成立した実績もございます。掲載方法につきましては、今後の参考にさせていただきます。
18	10月4日	57	空き家の効率的活用・解体推進活動	空き家の所有者を追跡確定。解体か賃貸か決定する。賃貸の場合は、市が所有者となってもよい。解体業者や所有者に助成金を出す。	危険老朽空き家対策事業において、市に寄付いただける場合は市の負担で取り壊しが可能なケースがございます。空き家調査は現在消防署で行っており、当然、危険老朽でない空き家もございますので、その活用方法について今後、考えてまいりたいと思います。

次世代を担う皆さまが抱く市政への期待・要望一覧

No	受付日	年齢	タイトル	市政へのご意見(提言・要望等)	回答
19	9月27日	29	まちなか(旧市街地)の活性化について	現在、旧市街地は全盛期の面影はなく空き家が増えています。長屋のように家同士が間隔狭しと軒を連らね、当時は良かった道幅も狭く感じるようになり、車社会となった現在は駐車スペースもなく、不便を多く感じます。 しかし、旧市街地の景観は滑川市の歴史そのものであり、滑川市民(特に中高年層)にとって郷愁を感じる重要なスポットとなりつつあります。私としては現在の景観を維持・保全しつつ、現代社会に耐えうる居住スペースを確保し、若い世代を定住させ街に賑わいを取り戻したいと考えています。私案ではありますがご検討下さい。 ①まちなかの一部エリアを歩行者天国へ移行する。(居住者や業務用車両は除く) ②空き地、空き家の市有化を強化・促進する。 ③まちなかにおける地区整備計画を企画・立案する。景観維持・保全の為、建築制限等を強化する。 ①は道路の拡幅工事よりも歩行者天国への移行が財政面を始め色々な面で現実的であります。また小学校や保育園が多数存在するスクールゾーンである為、歩行者天国化は子供にとっても保護者にとっても安心であり安全であります。(エリアの設定や、居住者や業務で往来する車両に対する措置は検討頂きたいです) ②、③が軌道に乗れば、歩行者天国エリアが存在する市街地は魅力が増してくるでしょう。ただし自動車の走行、駐車が課題です。 ②空き地、空き家の市有化強化の狙いは、旗竿敷地や変形の敷地などを集約し、新たな宅地や道路を整備していただくためです。市有化にこだわるのは地区計画を素早く思い通りに進捗させる為であります。滑川市拠点の不動産事業に携わる法人との協力も。 現在居住している方にも、100～300万(上限)で買い取るなどして地区計画を早期に進める。(中高年、特に高齢者を想定した施策)売却あるいは寄付後も居住を希望される方には、所有から(無償)賃貸契約へ移行させる。ただし毎月の賃料は徴収しない。固定資産税に相当する額(名目は更新料)を毎年1回徴収する。火災や家財保険は自己負担。賃貸契約者(前所有者)が亡くなった時点で、(無償)賃貸契約は満了。同居者が居住の継続を希望する場合は(有償)賃貸契約へ移行し、更新料及び毎月の賃料を追加で負担してもらう。 ①も②も③があって初めて活きる施策です。未来の市街地のランドデザインを描く最重要計画であります。「古いものを壊し、新しいものを作って提供する」というのでは、20年30年後に同じことを繰り返すでしょう。『大改造！！劇的ビフォーアフター』という番組がありますが、この番組の趣旨や番組内で登場する匠達の発想で滑川の市街地を復活させたいと考えています。 現在の景観を維持・保全が前提です。新築よりも改築や増築、耐震化の工事に重点を置く。 新築の場合は、景観を損ねないように建築制限を他の地域より強化する。 敷地に駐車スペースがなく月極駐車場を使用する世帯は、軽自動車税を減税あるいは免税(一旦納付してもらい後日還付)。ただし軽自動車のみ。 実務は分かりませんので細部は粗いですが、何卒ご検討下さい。居住者を増やす施策に重点を置いていただけますようお願いします。	近年、市内の小中学校付近などにおいては、比較的大きな住宅団地が形成され、市外からの転入世帯や既成市街地からの転入世帯の生活の場となっており、これにより既成市街地の空洞化の原因となっています。 このため市では、まちなかに住むひとを増やし市街地のにぎわいと良好な住環境整備を図るため「まちなか再生事業」を創設し、定住施策に取り組んでいるところです。 また、橋場町から加島町にかけての旧北陸街道沿いにおいては「歴史と文化が薫るまちづくり」事業に取り組み、古い町並み景観を生かしたまちづくりや、賑わいを創出するための方策を行っています。 ご提案の地区計画等はまちづくりの有効な方法の一つであると考えますが、建築規制の制限や現在居住の用に供している住宅の市有化には、住民の協力と理解が必要であり、なかなか難しい面もあると考えております。 今後、まちづくりを進めていくにあたりましては他市町村の取り組み事例等を参考に、住民の皆さんの意見等をお聞きしながら取り組んでいきたいと考えています。
20	9月25日		平等	・テスト期間の給食の件ですが、滑川中学と同様に早月中学にも実施してほしい。(同じ市なのにおかしいと思います) ・テストの日程も早月中学は1週間遅いため、スポーツなどの大会が、テスト終了日の直後になることが多く、バランスが悪いので、市から日程の調整を促してほしい。(滑川中と他の市の学校と同じなのに早月中だけ遅いので)	早月中学校でテスト期間中に給食を実施していないのは、子どもたちにテストに集中してもらうためにとっている措置ですが、今回のご提案の件については、早月中学校長にご意見があったことを伝え、検討していただくことにしています。
21	9月25日	39	学校での熱中症対策について	地球温暖化の影響でしょうか。近年、夏場と9月上旬の気温上昇が著しく、小中学校において、教室内の気温がとて高くなり、授業に集中できないと聞いています。大型の扇風機等で対応していらっしゃるようですが、効果がないように思います。上市町では今年、全小中学校の全教室に冷房がついたそうです。滑川市でもできないでしょうか。例えば、管理費・光熱費として夏場2～3カ月だけでも家庭の負担を多少ともなっても、月1,000円など集金してやっていただけると、とてもありがたいです。	経費の問題もありますが、近年の猛暑を考えると順次整備したいと考えています。
22	9月25日	39	運動会の開催日について	運動会の開催日もいろんな行事などの兼ね合いもあると思いますが、小中どちらも毎年練習中や当日に具合の悪くなる子がたくさんいます。もう少し時期を遅くするとか、富山市のように春～6月頃にするとかできないでしょうか。昔とは気温が全く違います。炎天下の中、何かあってからの対応では遅いと思います。どうかよろしくお願いします。	小中の校長会にご意見があったことを伝え、検討していただくことにしています。

次世代を担う皆さまが抱く市政への期待・要望一覧

No	受付日	年齢	タイトル	市政へのご意見(提言・要望等)	回答
23	9月28日	7	市民プール	市民プールが無料だと子どもにお金を持たせずに遊びに行けるので良いと思う。	利用者の立場では、無料が理想ではありますが、温水プールの維持管理費もかかることから、現在、滑川室内温水プールの運営団体である(公財)体力づくり指導協会と協議の上、お子様に関しても適正な料金で利用頂いております。 また、毎年、体育の日は無料開放している他、11枚綴りの回数券もございますので、ご活用ください。
24	9月21日	30代	イベントについて	小学生以上の子どもやおじいちゃん・おばあちゃんを対象にしたイベントは数多くありますが、未就学児を持つ20代～40代前半の子育て世代を対象にしたイベントは少ないと思います。年度末あたりに開かれる子育て用品限定のフリーマーケットは、子育て用品の売買だけでなく、情報交換と交流もできるいい機会です。1年に1度だけでなく、2カ月～半年に1回などもっと頻繁に開いてもらえたらいいなと思います。	子育て用品限定のフリーマーケットは、社会福祉協議会で実施しています。現在は年に一度の開催ですが、回数については、今後、検討していきます。
25	9月21日	30代	子育てメールについて	子どもが市内の保育園に入園しているのに、未だに未就園児対象のサークルやイベント情報が届きます。登録情報の変更などにはできないのでしょうか。参加できないのに、はがゆいです。また、支援センターのベビーマッサージ情報が届いた直後に申し込みの電話を掛けたところ、その数日前に予約でいっぱいになったと断られたこともあります。どちらも市が管理しているのなら、送る前にまだ募集中かどうか確認するなど、もう少し連携をしっかりとって欲しい。	子育てメールは、現在、年齢による抽出しかできないため、保育園に入園していても情報が送られてしまい、ご迷惑をおかけしております。これに対処するには、システムの改修が必要となることから、今後検討していきます。 また、支援センターからのメールについては、今後こういったことがないよう送る前に、内容等の確認をしたいと思います。
26	9月28日	7	遊具	雨の日でも遊べる室内遊具がほしい。	建設予定の児童館の中に取り入れたいと思います。
27	9月28日	42	核家族への支援のお願い	共働きの核家族が病気の子供を日中、預けることができる施設をつくってほしい。	現在市内のほとんどの保育所で体調不良児対応型病児保育を、また、急性期を過ぎ回復期にある児童を預かる病後児対応型病児保育については上小泉保育園で実施しております。ただ病気の回復期に至っていない児童を預かる病児対応型病児保育については、その必要性は認識しておりますが、小児科医等との連携が必要なため現在、実施場所がない状況です。今のところ難しいと考えていますが、今後さまざまな面から調査・研究を行いたいと考えています。